

2016年5月30日

日立オートモティブシステムズ株式会社

日立オートモティブシステムズメジャメント株式会社

## 「イワタニ水素ステーション 大阪森之宮」に燃料電池自動車用の 新型水素ディスペンサーを納入

日立オートモティブシステムズ株式会社(社長執行役員&CEO:関 秀明/以下、日立オートモティブシステムズ)のグループ会社で、サービスステーション事業や計装事業などを展開する日立オートモティブシステムズメジャメント株式会社(取締役社長:輪島 勝紀/以下、日立オートモティブシステムズメジャメント)は、岩谷産業株式会社(代表取締役社長:野村 雅男)が今月、大阪市城東区森之宮地区に開設した「イワタニ水素ステーション 大阪森之宮」に燃料電池自動車(FCV)用の新型水素ディスペンサー「NEORISE(ネオライズ)」を納入しました。

自動車グローバルに普及し、2020年には世界自動車生産台数が年間1億台を超える見通しの中、環境負荷低減や省エネルギーなどの観点から、2015年には水素エネルギーを動力源としたFCVの量産車が日本市場にも投入されており、注目を集めています。水素は使用過程において二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を排出しないクリーンな燃料であり、発電効率が高く、また製造原料の代替性が高いことから、日本をはじめ欧米など先進国において、FCV普及のためのインフラ整備が進められています。経済産業省では、国内のFCV普及目標を2030年までに年間80万台程度と設定しており\*、今後国内でもFCVの水素補給施設である水素ステーションの需要が拡大していくと見られています。

日立オートモティブシステムズメジャメントは、およそ80年にわたる歴史の中で、燃料油などの液体や各種ガス充填設備、危険物施設の建設などを取り扱っており、さまざまな燃料ディスペンサーの事業実績があります。また同社は、圧縮天然ガス関連事業で培ってきた高圧ガス充填技術を水素ディスペンサーにも生かし、高精度で安定した水素計測と充填を可能としています。

この度、納入した新型水素ディスペンサー「NEORISE」は、新たに小型熱交換器を内蔵することにより、同社従来製品比で約40%への小型化を実現するとともに、レイアウト性を向上させました。今回の納入により、同社が納入した国内の水素ステーションは18ヶ所となりました。

日立オートモティブシステムズメジャメントは、新型水素ディスペンサーの拡販を図り、需要拡大が見込まれる水素ステーション需要に対応していきます。

日立オートモティブシステムズは、「人・クルマ・社会」に新たな価値を創造し、豊かな社会の実現に貢献することを企業理念としており、モビリティイノベーションを強化するとともに、クルマと社会を繋げる次世代クリーンエネルギーステーションなどのインフラ構築にもグループで注力していきます。

\* 経済産業省「水素・燃料電池戦略ロードマップ改訂版(平成28年3月22日公表)」資料



新型水素ディスペンサー「NEORISE(ネオライズ)」

## ■会社概要

日立オートモティブシステムズ株式会社

本 社： 東京都千代田区大手町二丁目 2 番 1 号 新大手町ビル

事業内容： 自動車部品および産業用機械器具・システムの開発、製造、販売およびサービス

日立オートモティブシステムズメジャメント株式会社

本 社： 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央三丁目9番27号

事業内容： 計装機器の開発・製造・販売、給油所・エコステーションのプランニング／設計／施工  
各種工場プラントのシステムエンジニアリング、環境機器の販売、環境サポート事業、  
各種法定検査、各種計装機器のメンテナンス

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---